

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

## 第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番(代表)

ガバナー(第2640地区) : 岡本 浩

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.com/okamoto/>E-mail : [okamoto2640@athena.ocn.ne.jp](mailto:okamoto2640@athena.ocn.ne.jp)

会長: 辰 正博 幹事: 池永隆昭 広報委員長: 中川 澄 編集者: 嶽盛和三

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

2017年10月6日(金)第1769回

卓話「職業奉仕フォーラム」

卓話者 藤永 誉 職業奉仕委員長

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースデーソング」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い

小西幹夫会員 平野祥之会員

堀畑好秀会員 三上尚嘉会員

嶽盛和三会員 城岡キヌ子様

徳田 洋子様 濱口 良子様

山ノ内淑江様

○結婚記念祝い

池田茂雄会員

山中喜八郎会員

### 前回の例会

2017年9月29日(金)第1768回

### 「ガバナー公式訪問」

第2640地区ガバナー 岡本 浩様

今週の歌 「奉仕の理想」

「故郷の空」

お客様の紹介 岡本ガバナー様

上松瀬ガバナー補佐様

グエン・ティ・フーン様

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

&lt;9月29日(金)の出席報告&gt;

会員数	31名
出席会員	21名
欠席会員	10名
ゲスト	3名
ビジター	0名
7月29日(金)の出席率	887.09%

### 次週の例会

2017年10月13日(金)第1770回

例会変更及び

ファイヤーサイドミーティング

於: 南海グリル天兆閣 18時30分点鐘

ロータリー:  
変化をもたらす2017-18年度 国際ロータリーのテーマ  
「ロータリー: 変化をもたらす」  
国際ロータリー会長 イアン・ライズリー (オーストラリア・SandringhamRC)

## 卓 話

### 「ガバナーアドレス」

第 2640 地区ガバナー 岡本 浩様



こんにちは。2017-2018 年度ガバナーの岡本浩です。本日は公式訪問の機会を設定いただき、ありがとうございます。

さて、今年度ガバナーとして何を指すかについて、述べさせていただきます。

きます。

まず、今年の R I 会長テーマは、「変化をもたらす」です。これは、ロータリーの活動により、社会への良い変化をもたらす活動を追求しようということと解されます。また、そのような活動により、ロータリー自体も変化をする、さらにはロータリーの会員自身にも良い変化をもたらそうということだと解されます。

次に、当地区の指針は、「ロータリーの原点を再確認し、2640 地区の新たな飛躍を」とさせていただいています。これは、ロータリーとは何かをしっかりと再確認し、その基盤の上に地区をしっかりと構成し、さらに飛躍を目指そうということです。そのためには、月信第 1 号に「地区の基本的構造と各々の役割」として図示したような地区の有り方を追求することが大切です。そして、この図の中では、月信を地区・ガバナーと会員を結ぶ血管・血流と捉えています。紙媒体で配布される月信で地区情報を会員に伝える手段として重視していきたいと考えています。

それでは、このような地区組織の上に立って、目指すべきロータリー、言い換えればロータリーの原点とは何かについて述べてみます。

それは、4つのテストに示される倫理・行動基準に則った職業奉仕の理念を追求する職業人の集まりがロータリークラブであり、そのような個人が例会に集うことで互いに刺激し合い学び合う場である例会を会員に提供することこそ、ロータリーの原点だということだと思います。したがって、ロータリーは、大人の学校と言えます。そして、学校で

あるロータリーへ皆が集うには、ロータリーは楽しく友情が育つ場である必要があります。

なお、職業奉仕とは何かを一言で言うなら、個人の職域において、4つのテストに示される倫理を貫いた職業活動を行ない、その職業領域において、一番に尊敬される職業人を指すということだと思います。例会を通じての互いの人格的成長・向上と、職業を超えての友情と信頼の形成こそ、ロータリーの真髄と言えます。

何か一つ、どこか一つ、参加した会員の記憶に残るような充実した例会になるよう努力し、その積み重ねにより会員の向上を図っていくようなロータリー活動を作っていきます。

## 会長の時間

会長 辰 正博



ようこそ岡本ガバナー様  
ガバナー公式訪問を今年の7月からスタートして11月まで69クラブを約5ヶ月の間の訪問大変ご苦労様です。

先週ガバナー補佐の上松瀬様がおいでになられた時に「今

までで出席された中で食事が大変豪華ですね」とおっしゃられていて大変うれしく思いました。

今回のことは我々のクラブの例会の出席率の向上にも影響していると思います。また本年度の高石 RC の西浦会長がオーナーのお店なのでぶんお気をつけていただいていると思います。

岡本ガバナー様におかれましては、設定された基本方針を着々と実行されていると思います。

又、地区の大きなイベントの地区大会も11月4日と近づいてまいりました、堺北 RC も出来るだけ多くの会員で出席したいと思っています。

我々のクラブもあと3年で40周年になりますので、それに向かって会員一同盛り立てていこうと考えています。

ロータリーの原点を再確認して、例会を通じて、われわれ社会人が再度学びの場として、また会員同士が仲良く楽しく活動していれば、おのずと新会員も増えると思っています。

それでは本日はよろしくお祈りします。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

#### 「秋の交通安全運動」

社会奉仕委員 藤永 誉



9月21日(木) 本日より秋の交通安全週間が始まりました。交通ルールを守って事故のない社会をつくりましょう。今回は、初めての試みで堺東商店街の中を宝珠幼稚園の園児たちの元気な演奏を先頭に参加者

全員でパレードしました。

堺市役所の前では、園児たちと信号や交通ルールに関する勉強を警察官のご指導のもと行い、園児たちは質問に対しても元気に手を挙げて答えていました。

交通安全協会の会長様のご挨拶でよりよくなった交通安全のイベントが締めくくられました。

出席(敬称略): 堀畑、池田、國井、中田、米澤、嶽盛、小西、澤井、平野、藤永 10名参加  
メイクアップさせていただきます。



## S A A

堺北RC会員一同 岡本ガバナー・上松瀬ガバナー補佐、本日はご来会有難うございます。よろしくご指導の程、お願いします。

辰 正博会員 岡本ガバナー・上松瀬ガバナー補佐、堺北RCによろこそ。

中田 学会員 岡本ガバナー・上松瀬ガバナー補佐よろこそ堺北RCへ。本日は御指導宜しくお願ひ致します。

池永隆昭会員 ニコニコです。

池永隆昭会員 松井さん。ゴルフベストスコア90  
記念

合計 37,000円

## 幹事報告

### (1) 今週の配布物

・週報 ・ガバナー資料

### (2) 幹事報告

次週は理事会がございますので、理事役員の皆様は例会終了後お集まりください。

## 例会風景





# ハイライトよねまや

## 学友・ロータリアンが大集合！ 感謝 in 熊本

「世界米山学友による感謝 in 熊本」（主催：米山学友合同実行委員会）が8月26日、熊本市内ホテルで開催され、世界18の国・地域からの奨学生と学友196人、ロータリアン204人、その他家族などを含め総勢444人が参加しました。

このイベントは、学友によるロータリー米山記念奨学会財団設立50周年への祝賀に加え、今後、国内外の学友・学友会が横のつながりを持つためのプラットフォーム、「世界米山学友会」の発足を目的としたものです。同日午前中には、有志80人が益城町立飯野小学校を訪問。当時の被災状況について校長先生の話に耳を傾け、義援金40万円を贈呈しました。

17時から第一部「世界米山学友 会設立式典」が始まり、米山梅吉翁の生涯を描く朗読劇、全炳台ジョンピョンテさんから世界米山学友会の設立が宣言され、次回は2年後、モンゴルで開催することが発表されました。また、台湾・韓国の学友がそれぞれスピーチをしたあと、米山学友合同会から第2720地区ガバナー 永田壮一氏へ熊本大地震の義援金100万円が贈呈されました。第二部の懇親会では、タイや韓国、また学友会・ロータリアンのコラボレーションによる民族舞踊と合唱が次々に披露され、会場は大盛り上がりでした。サプライズでくまモンが登場すると熱気は最高潮に達し、子どもから大人まで一緒に“くまモン体操”を踊りました。会場では偶然の出会いや再会に驚き喜ぶ姿が多くみられました。最後の参加者全員での「手に手つないで」は、会場いっぱい広がっても足りないほどで、幾重にも折り返しながら、弾ける笑顔で手を握り、再会を誓い合って閉幕となりました。



## 米山学友がGETSで感謝のスピーチ

9月4日～5日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナー（GETS）の2日目午後・閉会本会議において、当会の小沢一彦理事長と 岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。続く「学友3名のスピーチ」のセッションでは、財団学友、ROTEX学友と共に、米山学友のジョルダヤコヴァ、サウレさん（2015-17/伊勢原RC）が登場。「米山奨学生に選ばれて」と題してスピーチしました。カザフスタンの国費留学生として来日し、米山奨学金のおかげで進学が叶ったというサウレさんは、ロータリーとの交流を通じてコミュニケーション能力を高め、人脈を広げて、支え合える多くの友人を得ることができたと報告。博士課程で研究中の水素エネルギーを母国カザフスタンで活用できるよう道を開くことが夢、と語りました。「私たち留学生を信じ、応援して下さるロータリーの皆さんに心から感謝します」と、カザフ語の「ありがとう」で締めくくったサウレさんに、会場から万雷の拍手が送られました。